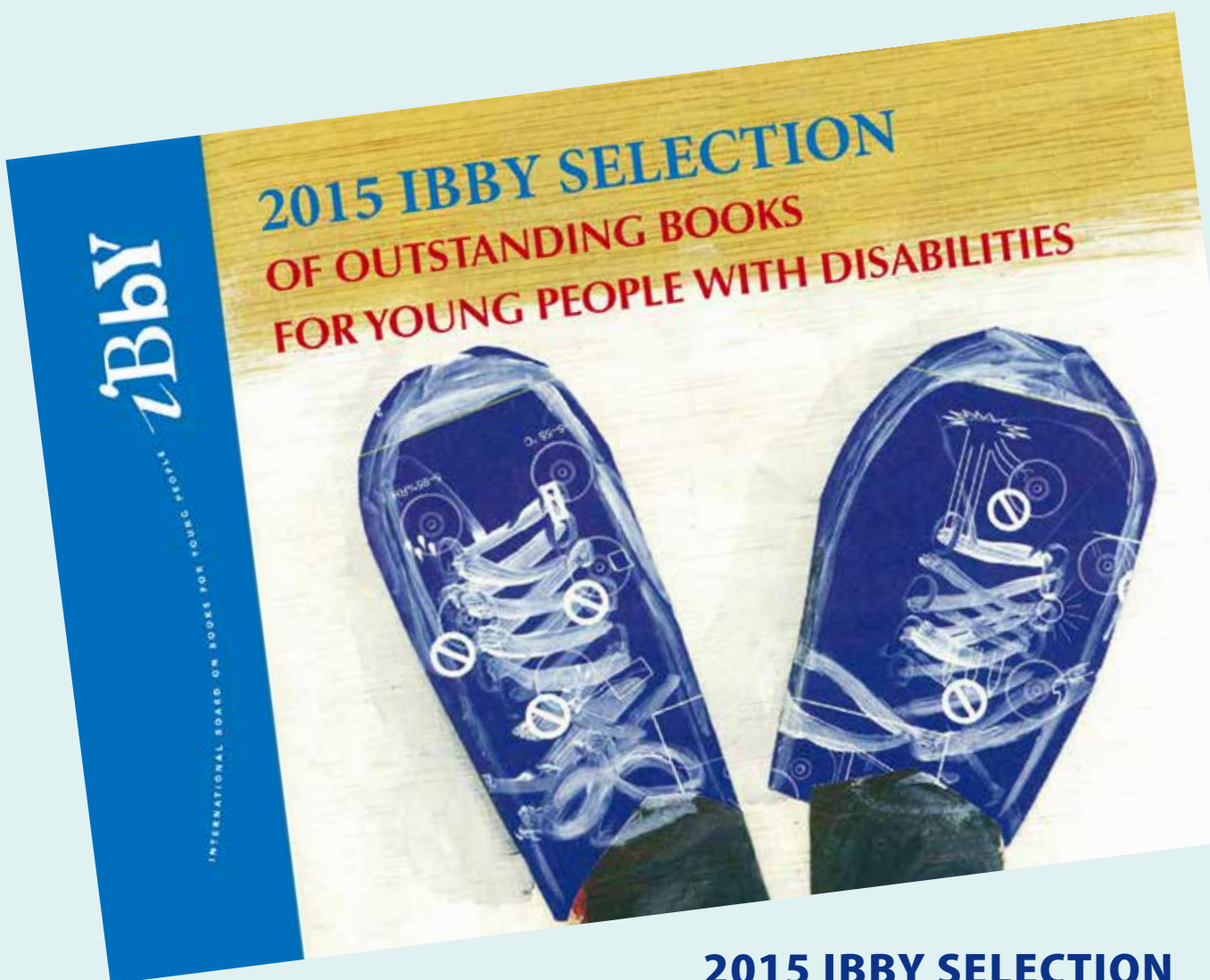


# 世界のバリアフリー絵本展 2015

— IBBY 障害児図書資料センターの 2015 年推薦図書 —



**2015 IBBY SELECTION**  
**of Outstanding Books**  
**for Young People with Disabilities**

# IBBY と JBBY

IBBY（国際児童図書評議会 = International Board on Books for Young People）は、「子どもたちに必要なのはパンと本である。本を通して国際理解を深めることが平和を築く」と提唱したユダヤ人女性、イエラ・レップマンによって、1953年に誕生しました。2015年現在、77の国と地域が加盟し、世界中で子どもと本をつなぐ活動を行っている非営利組織です。隔年で行われるIBBY世界大会では、すぐれた作品を発表した作家と画家に対して「国際アンデルセン賞」を授与しています。また、世界の子どもの本に関する情報を掲載する機関紙「ブックバード」の発行や、読書普及や識字運動を応援する「IBBY朝日国際児童図書普及賞」の授与、本づくりや本を手渡す人を育てるための「IBBY山田プログラム」、障害児図書資料センターの活動、緊急支援を必要とした子どもたちのための国際募金活動「チルドレン・イン・クライシス」など、世界中の子どもたちがすぐれた本に出会い、国際理解と平和が達成されることを願っています。

IBBYの日本支部であるJBBY（日本国際児童図書評議会 = Japanese Board on Books for Young People）は、この理念にもとづき、「子どもの本を通しての国際理解」を深めることを使命に活動を続けています。

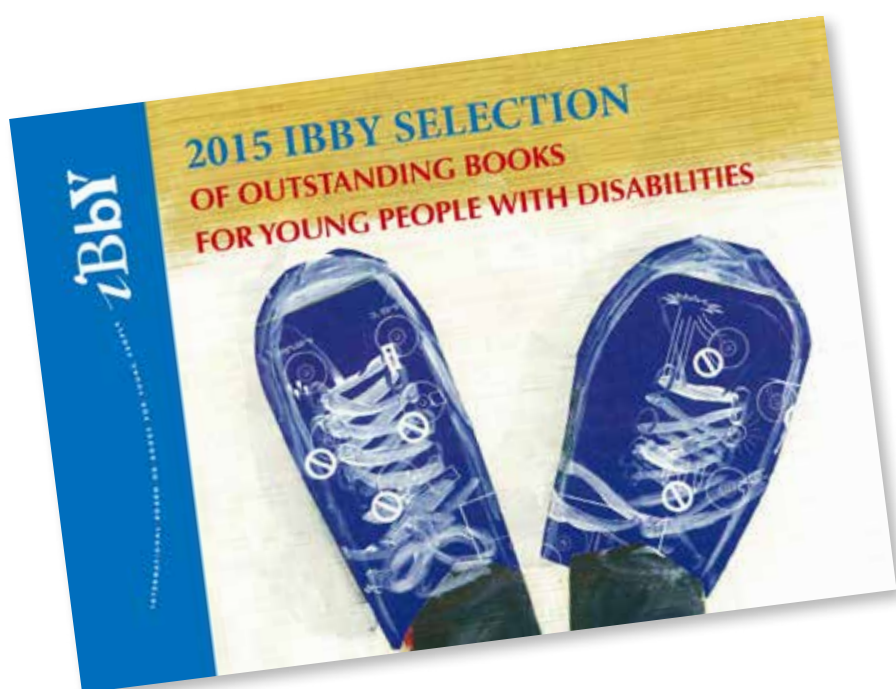
[www.ibby.org](http://www.ibby.org)  
[www.jbby.org](http://www.jbby.org)

## もくじ

04	ごあいさつ
06	はじめに
10	カテゴリー 1 配慮（スペシャルアプローチ）
10	手話
11	絵文字
12	点字とさわる絵
16	ディスレクシアの特性がある 子どものための本
17	カテゴリー 2 共に（ユニバーサルアクセス）
20	カテゴリー 3 理解（ポートレート）
29	出版社一覧
30	国別索引

# 2015 IBBY SELECTION of Outstanding Books for Young People with Disabilities

世界のバリアフリー絵本展 2015  
IBBY 障害児図書資料センターの 2015 年推薦図書



IBBY

一般社団法人日本国際児童図書評議会

## ごあいさつ

2014年2月、IBBY 障害児図書資料センターはノルウェーからカナダへ活動の拠点を移しました。これは、世界中の子どもや若者たちが質の高い文学に触れるための、IBBY（国際児童図書評議会）による新たな動きです。

第二次世界大戦後、ドイツの子どもたちに本を手渡したいというイエラ・レップマンの願いは、紛争による犠牲者の絶えないランペドゥーサ、ガザ、シリアで志を継ぐ人々へと、現在も繋がっています。本は、子どもたちに新しい世界を開いてくれます。よその国にも、自分たちと同じように、動物やおとぎ話が好きだったり、思いやりがあったり、不安を感じたりしている子どもがいるのを教えてくれます。平常心を失いそうなとき、本を読むと、元の感情を取りもどすことができます。たとえ混乱の最中であっても、座って本を開くと、人は他の世界へ入りこむことができるのです。

IBBY 障害児図書資料センターも、ひとりの女性の思いから出発しました。1981年の国際障害者年の準備をしていたトーディス・ウーリアセーターです。ウーリアセーターは、障害のある子どもたちに、形があって実際にふれることができるもの、実際には手でふれられないけれども大事なもの、その両方を手渡したいと願いました。障害のある子どもたちは、どこに住んでしようと、すばらしい本を必要とし、読む権利をもち、それらを手に入れることができなければならないのです。1981年、IBBY ノルウェー支部の協力を得て、「障害児と本」と題した展示会が開催されました。このときに集められた作品が、ニーナ・アスクヴィグ・

ライダーソンの指揮のもと、1985年オスロ大学特殊教育研究所内のIBBY 障害児図書資料センター設立へとつながりました。2002年、ライダーソンが引退すると、ハイジ・コートナー・ボイエセンが後を継ぎ、センターはバールム市のハウグ特別支援学校内へ移転しました。ボイエセンは、本を棚から出して、ハウグ校の特別な配慮が必要な子どもたちが直接手にとって読めるようにしました。

2012年、2年後にボイエセンの引退を控え、センターは再び引っ越し先を探すことになりました。熟考の末、IBBYはカナダのトロント市立図書館（TPL）を新しい所在地に決めたのです。

2013年、嚴重に梱包された蔵書は、カナダのモントリオールへ向けて船便で発送されました。モントリオールからはトラックでトロントへと運ばれました。そして、トロント市立図書館ノースヨーク中央図書館児童書コーナーに新しい蔵書エリアが設けられ、作品の展示が始まりました。

蔵書はおよそ4千冊で、さまざまな言語が含まれています。これらの本は、障害者のために、あるいは障害者について書かれた象徴的な本ばかりです。以下はその一例です。

- ・点字や絵文字、手話など、特別な仕様で制作された本
- ・さわる絵本や布絵本（だれもがさわって楽しむ、通常の読書とは違う感覚を使うことで、読書経験を増やすことができる）

- ・心を動かす美しい絵が描かれた世界中の本
- ・1991年以降に出版された絵本や読み物で、障害を理解する手助けになるもの
- ・登場人物に障害者が出てくる数々の物語（物語＝創作は、蔵書の中でも当初から注目していた分野で、理解や共感を深める機会を与えてくれる）

これらの本は分類され、トロント市立図書館のウェブサイトから、作者名、作品名、テーマ、言語別に検索することができます。

⇒ [www.torontopubliclibrary.ca/ibby](http://www.torontopubliclibrary.ca/ibby)

2年に一度発行されるカタログ（このカタログは、その最新版です）は、IBBYのウェブサイトにPDFが掲載します。⇒ [www.ibby.org](http://www.ibby.org)

さらに、トロント市立図書館のウェブサイトには、より詳細な情報も掲載しますので、世界中どこからでも閲覧が可能です。

⇒ [www.torontopubliclibrary.ca/ibby](http://www.torontopubliclibrary.ca/ibby)

もちろん、来館して、実際に手にとってご覧いただくことも可能です。もし、興味のある分野について照会したい場合は、電話かメールで問い合わせくださるか、開館時間内に直接図書館へおいでください。

電話番号：+1-416-395-5630

メールアドレス：ibby@torontopubliclibrary.ca

たとえば、こんな利用方法があります。

- ・研究者で、脳性まひの人がどのように表現されているのか知りたい場合

- ・発達障害のある十代の子どもをもつ親で、年齢にふさわしい内容で、かつ易しく読める本を探している場合

- ・出版社で、ディスレクシアのある学習者にとって読みやすい他社の本を見たい場合

- ・学校の先生で、生徒たちに、障害に向き合い、葛藤しつつも受け入れようとしている若者について書かれた物語を読んであげたい場合

IBBY 障害児図書資料センターの蔵書は、比類のないものです。では、障害のある若者のための世界中の本をすべて網羅しているのでしょうか？ たとえば「いいえ」です。しかし、知りたい事を調べたり、純粋に読書を楽しんだりすることに対応できるだけの、素晴らしい作品が揃っています。

最後に、2015年の選考にあたり、協力してくれたシャロン・モイネス、デボラ・ピアソンほか、トロント市立図書館のたくさんのスタッフに感謝します。

2015年1月

レイ・トゥリーナ

(IBBY 障害児図書資料センター 図書館司書)

エリザベス・ペイジ

(IBBY 事務局長)

## 2015 IBBY Selection of Outstanding Books for Young People with Disabilities

IBBY 障害児図書資料センターの 2015 年推薦図書

— 世界のバリアフリー絵本展 2015

2016 年 3 月 1 日 第 1 刷

発行 一般社団法人 日本国際児童図書評議会 (JBBY)

〒 162-0828 東京都新宿区袋町 6

TEL 03-5228-0051 FAX 03-5228-0053 info@jbby.org

編集 JBBY「世界のバリアフリー絵本展」実行委員会

翻訳協力 赤塚きょう子 井原美穂 かまだゆうこ 杉本詠美 野坂悦子 冬木恵子  
古市真由美 本多玉乃 美馬しょうこ 宮坂宏美 村上利佳 横山和江  
攪上久子

Originally published in English

by IBBY Collection for Young People with Disabilities